

BG-KM

STIHL



2 - 12 取扱説明書



目次

1	コンピツール.....	2
2	はじめに.....	2
3	使用上の注意および作業方法.....	2
4	承認されたコンピエンジン.....	5
5	運転準備.....	5
6	コンピツールの取付け.....	5
7	エンジンの始動と停止.....	5
8	機械の保管.....	6
9	整備表.....	6
10	磨耗の低減と損傷の回避.....	6
11	主要構成部品.....	7
12	技術仕様.....	7
13	整備と修理.....	8
14	廃棄.....	8
15	EC 適合証明書.....	8
16	UKCA 適合宣言.....	9
17	アドレス.....	10
18	パワーツールの安全上の一般的警告事項.....	10

1 コンピツール

STIHL コンピシステムでは、パワーツールとしてさまざまなコンピエンジンやコンピツールを組み合わせることができます。本取扱説明書では、コンピエンジンとコンピツールで構成される本体一式をパワーツールと呼びます。

そのため、パワーツールにはコンピエンジン用とコンピツール用の各取扱説明書が必要です。

必ず**両方**の取扱説明書を読み、内容を理解してからパワーツールの使用を開始し、取扱説明書は以後の参照用に安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマークは、本取扱説明書で説明されています。

2.2 段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

2.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

そして、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

油煙機白紙使用
禁止マーク可能です。

3 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用して作業する際には、特別な安全対策が必要となります。



初めて本機を使用する前に、両方の取扱説明書（コンピエンジンおよびコンピツール）を注意深くお読みになり、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。取扱説明書を守り守らなければ生命に危険が及び可能性があります。

パワーツールは、本モデルとその取扱いに精通している人以外に譲渡したり貸与したりしないでください。

ブローを使用すれば、落ち葉、草、紙、雪などを庭園、スタジアム、駐車場や車寄せなどから取り除くことができます。山林の散策路に落ちている葉などを吹き飛ばす作業にも適しています。

本パワーツールをこれ以外の目的には使用しないでください - **事故の危険があります！**

STIHL が本パワーツールでの使用を承認したパーツやアクセサリ、または技術的に同等のパーツのみを装着してください。これに関してご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

高品質の部品およびアクセサリのみを使用してください。これを怠ると事故やパワーツールの損傷につながる恐れがあります。

当社では STIHL 純正部品およびアクセサリのご使用をお勧めしています。これらは、お客様の

製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとししないでください。STIHLは、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

3.1 衣服と装備

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、使用目的に適した作業の妨げにならないものでなければなりません。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたコンピスーツなどの作業服を着用してください。



衣服、スカーフ、ネクタイ、装身具のうち、吸気口に吸い込まれる可能性のあるものは着用しないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 規格（カナダは CSA Z94）に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

3.2 パワーツールの運搬

必ずエンジンを停止してください。

車両を使用して運搬する場合：転倒、破損、燃料漏れを防ぐために、パワーツールを適切に固定してください。

3.3 始動前

パワーツールが操作の安全性を確保できる状態であることを確認します - コンビエンジンとコンビツールの取扱説明書に記載されている関連項目を参照してください：

- ブローハウジングに摩耗（亀裂、欠け）があると、異物が流出して怪我をするおそれがあります

- ブローハウジングが損傷している場合は、サービス店までご来店ください。
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください
- ハンドルはオイルや汚れが付着していない清潔で乾いた状態に保ちます - これはパワーツールを安全に操作するために重要です。

パワーツールは、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます - **事故の恐れがあります！**

ハーネス使用中に緊急事態に備えて：機械を素早く取り外す練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷させないように注意してください。

コンビエンジン取扱説明書の「始動前」に記載されている注意事項も参照してください。

3.4 作業中

ブローを他の人物や動物に向けることは、絶対に控えてください。小さい物体が高速で飛散する可能性があります。怪我をする危険があります！

危険が差し迫った場合や緊急事態が発生した場合は、スライドコントロール / 停止スイッチ / 停止ボタンを STOP または 0 にセットして、直ちにエンジンを停止してください。



作業者以外、半径 15 m 以内に立ち入ることは禁じられています - 飛散物によって怪我をする危険があります！

他の物体（車両、窓）からもこの距離を保ってください - **物的損害が生じる危険があります！**



エンジン運転中は機械から有毒な排気ガスが出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあり、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください - 触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

作動させたままの状態、絶対に本機から離れないでください。

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、氷、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください - スリッパする危険があります！

ブローで（屋外や庭で）作業する際は小動物に注意して、動物が危険にさらされることがないようにしてください。

触媒コンバータ付きマフラーは特に高温になりがちです。

作業中に埃が巻き上がると、健康に被害が及ぶ恐れがあります。塵埃が発生する場所では、防塵マスクを着用してください。

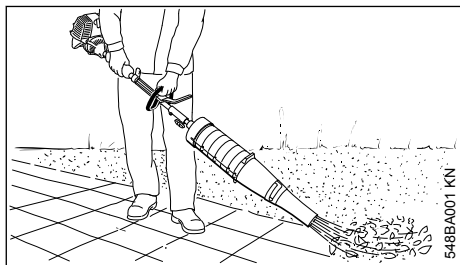
イヤープロテクター（聴力保護具）を装着している場合は、より高い注意力が必要です - 危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

作業後、機器は平坦で不燃性の地面の上に置いてください。着火しやすい物質（木屑、樹皮、乾燥した草、燃料など）の近くには置かないでください - 火災の危険があります！

パワーツールに、設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に動作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください - コンビエンジンの取扱説明書にある「始動前」の項目も参照してください。特に、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、絶対に作業を続けないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

ファンホイールが物体によって動かなくなった場合：コンビエンジンのスイッチをオフにしてください / バッテリーを取り外してください / 接続ケーブルを外してください。まずこれを行ってから、障害物を取り除きます。

3.5 機器の使用



必ず両手でパワーツールのハンドルを保持します。コントロールハンドルを右手で、シャフトのハンドルを左手で握ります（左利きの場合も同様）。親指でハンドルをしっかりと握ります。

警告

本機は必ずブロワーチューブが完全に取り付けられた状態で使用してください。

必ずゆっくり前進しながら作業してください。ブロワーチューブの出口領域を常に監視してください。後退しないでください。顕く危険があります！

屋外や庭でブロワーで作業する際は小動物に注意してください。

本機は、ベルト（オプションアクセサリ、一部の国でのみ入手可能）を使用して持ち運び、そのベルトに本機の重量がかかるようにすることができます。

3.6 作業方法

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

- 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。
- 見物人（特に子ども）、ペット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます - 隣人の敷地に吹き出したりしないでください。
- 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理に合った時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。
- 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブロワーをご使用ください。
- 作業開始前にお使いのブロワーの状態を点検します。特にマフラー、エアー インテークおよびエアー フィルターに注意してください。

3.7 整備と修理

定期的にも本機を整備してください。コンビツールおよびコンビエンジンの取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店にのみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、スチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください。**

4 承認されたコンビエンジン

4.1 コンビエンジン

STIHL 社が供給するが、STIHL 社がコンビツールとの使用を明示的に承認したコンビエンジンのみを使用してください。

このコンビツールは、次のコンビエンジンとの組み合わせのみで使用することができます：

STIHL KM 56 R、KM 85 R、KM 94 R、
KM 111 R、KM 131、KM 131 R、KM 235 R、
KMA 80.0 R、KMA 120.0 R、KMA 130 R、
KMA 135 R、KMA 200.0 R



警告

ループハンドル付きの機器には、バー（バリアバー）が装着されている必要があります。

4.2 分離シャフト付き刈払機

このコンビツールは、分離シャフト付きの STIHL 刈払機（基本パワーツール、T モデル）にも装着できます。

そのため、このコンビツールは次のパワーツールでも使用が許可されています：

STIHL FR 131 T、FR 235 T



警告

バー（バリアバー）の使用法については、パワーツールの取扱説明書を参照してください。

5 運転準備

- ▶ ノズルをブローチューブに突起部がかみ合うまで差し込み、時計回りに止まるまで回転させて所定の位置にロックします。



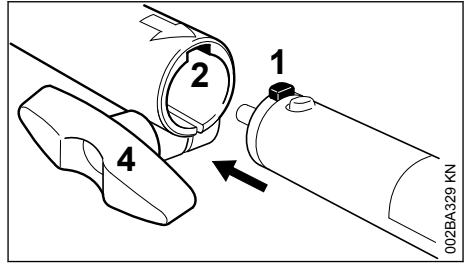
警告

ケガの危険を低減するために、ブローチューブを適切に取り付けた状態でのみ、本機を使用してください。

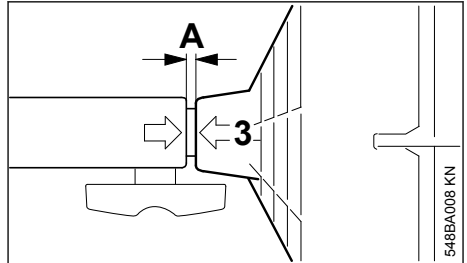
6 コンビツールの取付け

6.1 コンビツールの取り付け

- ▶ コンビエンジン（KM）を使用している場合：エンジンを停止します。
- ▶ バッテリーコンビモーター（KMA）を使用している場合：モーターをオフにし、バッテリーを取り出します / 接続ケーブルのプラグを引き抜きます。



- ▶ シャフトのピン（1）を止まるまでカップリングスリーブの溝（2）に押し込みます。



正しく押し込まれていれば、シールド（3）がカップリングスリーブと同一平面上になっている（隙間 A 最大 5 mm）はずです。

- ▶ ウイングスクリュー（4）を締め付けます。

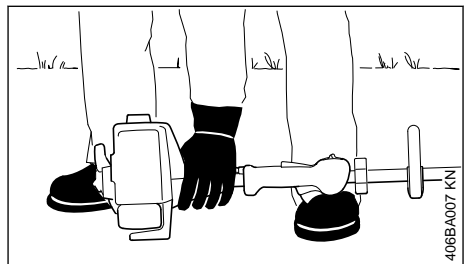
6.2 コンビツールの取り外し

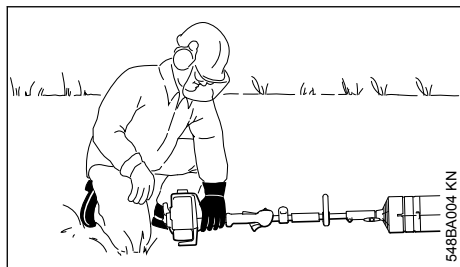
- ▶ 逆の順序でコンビツールを取り外します。

7 エンジンの始動と停止

7.1 エンジンの始動

必ずコンビエンジンと基本パワーツールの取扱説明書に従ってください。





注記

ほこりを吸引しないように、清潔な面で本機を始動します。

- ▶ 本機を地面にしっかりと置き、第三者がノズル吐出口の方向にいないことを確認します。
- ▶ 立つか、かがむか、ひざまずいて、安定した足場を確保します。
- ▶ 機械を左手で押さえ、**確実に**押し付けます - コントロールハンドルの操作部には触れないでください - コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

注記

ドライブチューブ上に足を載せたり、ひざまずいたりしないでください。

使用中のコンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書に記載されている始動手順に従って、適正に始動してください。

7.2 エンジンの停止

- ▶ コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

8 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

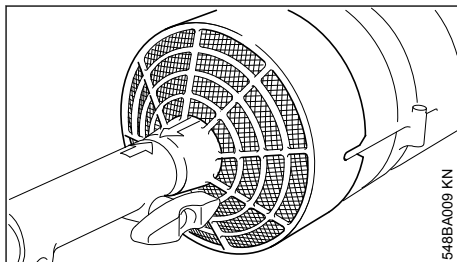
- ▶ ハウジングの清掃および点検
- ▶ コンビツールをコンビエンジンから分離して保管する場合：連結部が汚れないようにシャフトに保護キャップを装着します。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所で保管してください。(子供など)承認されていない人が使用しないように保護してください。

9 整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合(非常

にほこりの多い場所など)は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。

インテークスクリーン



- ▶ 作業開始前、作業終了後および必要に応じて、点検し、清掃します。
- ▶ 損傷している場合は、スチール サービス店に交換を依頼してください¹⁾

10 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書とコンビエンジンの取扱説明書の記述を遵守して使用すると、パワーツールの過度の磨耗や損傷が回避されます。

パワーツールの使用、整備並びに保管は、これらの取扱説明書の記述に従って十分な注意をはらって行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

10.1 整備作業

「整備表」の章に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

¹⁾ 当社ではスチール サービス店に依頼されることをお勧めします

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

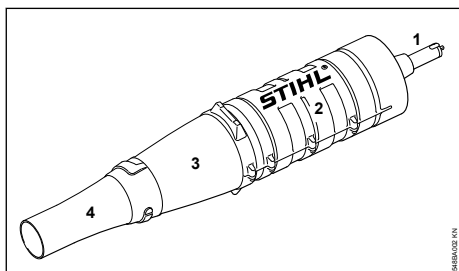
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる当製品の損傷。

10.2 磨耗部品

刈払機の部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- ノズル
- インテークスクリーン

11 主要構成部品



- 1 ドライブ チューブ
- 2 ブLOWER ハウジング
- 3 ブLOWER チューブ
- 4 ノズル

12 技術仕様

12.1 最大風量 (ラウンドノズル装着時)

KM / FR モデルにより異なる
875 - 1025 m³/h

12.2 風速 (ラウンドノズル装着時)

KM / FR モデルにより異なる
60 - 70 m/s

12.3 重量

1.8 kg

12.4 騒音・振動数値

コンビツール BGKM 搭載のパワーツールにおける音響値 振動値は、アイドリリング回転数と最大定

格回転数の運転状態を 1:6 の割合で考慮した上で測定しています。

振動に関する事業主への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。

12.4.1 ISO 22868 に準拠した音圧レベル L_{peq}

ループハンドル付き KM 56 R :	96 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R :	97 dB(A)
ループハンドル付き KM 94 R :	93 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R :	98 dB(A)
KM 131 :	101 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R :	101 dB(A)
ループハンドル付き KM 235.0 R :	102 dB(A)
FR 131 T :	101 dB(A)
FR 235.0 T :	100 dB(A)

12.4.2 ISO 11201 に準拠した音圧レベル L_{peq}

ループハンドル付き KMA 80.0 R :	90 dB(A)
ループハンドル付き KMA 120.0 R :	90 dB(A)
ループハンドル付き KMA 130 R :	91 dB(A)
ループハンドル付き KMA 135 R :	89.2 dB(A)
ループハンドル付き KMA 200.0 R :	95 dB(A)

12.4.3 ISO 22868 に準拠した音響パワーレベル L_w

ループハンドル付き KM 56 R :	107 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R :	108 dB(A)
ループハンドル付き KM 94 R :	106 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R :	110 dB(A)
KM 131 :	110 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R :	110 dB(A)

12.4.4 ISO 22868 に準拠した音響パワーレベル L_{weq}

ループハンドル付き KM 235.0 R :	112 dB(A)
FR 131 T :	110 dB(A)
FR 235.0 T :	111 dB(A)

12.4.5 ISO 3744 に準拠した音響パワーレベル L_w

KMA 80.0 R :	102 dB(A)
KMA 120.0 R :	102 dB(A)
KMA 130 R :	102 dB(A)
KMA 135 R :	104 dB(A)
KMA 200.0 R :	103 dB(A)

12.4.6 ISO 22867 に準拠した振動値 a_{hV,eq}

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KM 56 R :	4.7 m/s ²	6.7 m/s ²

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KM 85 R :	4.4 m/s ²	8.2 m/s ²
ループハンドル付き KM 94 R :	2.9 m/s ²	4.2 m/s ²
ループハンドル付き KM 111 R :	2.6 m/s ²	3.8 m/s ²
KM 131 :	4.1 m/s ²	4.5 m/s ²
ループハンドル付き KM 131 R :	4.1 m/s ²	4.5 m/s ²
ループハンドル付き KM 235.0 R :	8.0 m/s ²	8.3 m/s ²
FR 131 T :	1.5 m/s ²	2.0 m/s ²
FR 235.0 T :	2.2 m/s ²	2.1 m/s ²

12.4.7 EN ISO 8662-1 に準拠した振動値 a_{hv,eq}

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KMA 80.0 R :	1.9 m/s ²	1.4 m/s ²
ループハンドル付き KMA 120.0 R :	1.3 m/s ²	1.2 m/s ²
ループハンドル付き KMA 130 R :	1.6 m/s ²	2.0 m/s ²
ループハンドル付き KMA 135 R :	3.9 m/s ²	2.7 m/s ²
ループハンドル付き KMA 200.0 R :	2.4 m/s ²	2.4 m/s ²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

12.5 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com

13 整備と修理


本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチールサービス店の方に依頼されることをお勧めします。スチールサービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用くだ

さい。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

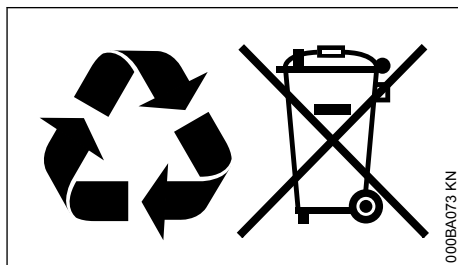
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

14 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

15 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

モデル : コンビツール ブロワ

製造ブランド : STIHL
タイプ : BG-KM
シリアル番号 : 4606

指令 2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします :

EN ISO 12100 (指定されたコンビエンジン KM モデルおよび背負式刈払機 FR モデルに関連)

EN ISO 12100、EN 60335-1、EN 50636-2-100 (指定されたバッテリーコンビモーター KMA モ

デルに関連) ならびに IEC 62841-1 および IEC 62841-4-6 (KMA 80.0 R, KMA 120.0 R および KMA 200.0 R に関連) を考慮。

音響出力レベルの測定値および保証値は、ISO 11094 規格を適用の下、指令 2000/14/EC の付属書 V に準拠して算出しています。

音響出力レベル測定値

KM 56 R 装備:	106 dB(A)
KM 85 R 装備:	104.3 dB(A)
KM 94 R 装備:	104 dB(A)
KM 111 R 装備:	108 dB(A)
KM 131 装備:	110 dB(A)
KM 131 R 装備:	110 dB(A)
KM 235 R 装備:	110 dB(A)
KMA 130 R 装備:	102 dB(A)
KMA 135 R 装備:	101.5 dB(A)
KMA 80.0 R 装備:	102 dB(A)
KMA 120.0 R 装備:	102 dB(A)
KMA 200.0 R 装備:	103 dB(A)
FR 131 T 装備:	110 dB(A)
FR 235 T 装備:	109 dB(A)

音響出力レベル保証値

KM 56 R 装備:	108 dB(A)
KM 85 R 装備:	106 dB(A)
KM 94 R 装備:	106 dB(A)
KM 111 R 装備:	110 dB(A)
KM 131 装備:	112 dB(A)
KM 131 R 装備:	112 dB(A)
KM 235 R 装備:	112 dB(A)
KMA 130 R 装備:	104 dB(A)
KMA 135 R 装備:	104 dB(A)
KMA 80.0 R 装備:	104 dB(A)
KMA 120.0 R 装備:	104 dB(A)
KMA 200.0 R 装備:	105 dB(A)
FR 131 T 装備:	112 dB(A)
FR 235 T 装備:	111 dB(A)

技術文書の保管:

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2023 年 12 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

16 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

モデル: コンビツール ブロウ

製造ブランド: STIHL
タイプ: BG-KM
シリアル番号: 4606

英国規則 Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 および Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします:

EN ISO 12100 (指定されたコンビエンジン KM モデルおよび背負式刈払機 FR モデルに関連)

EN ISO 12100, EN 60335-1, EN 50636-2-100 (指定されたバッテリーコンビモーター KMA モデルに関連) ならびに IEC 62841-1 および IEC 62841-4-6 (KMA 80.0 R, KMA 120.0 R および KMA 200.0 R に関連) を考慮。

音響パワーレベルは、測定値並びに保証値共に、英国規則 2000/14/EC, Schedule 8, および規格 ISO 11094 に従って決定されています。

音響出力レベル測定値

KM 56 R 装備:	106 dB(A)
KM 85 R 装備:	104.3 dB(A)
KM 94 R 装備:	104 dB(A)
KM 111 R 装備:	108 dB(A)
KM 131 装備:	110 dB(A)
KM 131 R 装備:	110 dB(A)
KM 235 R 装備:	110 dB(A)
KMA 130 R 装備:	102 dB(A)
KMA 135 R 装備:	101.5 dB(A)
KMA 80.0 R 装備:	102 dB(A)
KMA 120.0 R 装備:	102 dB(A)
KMA 200.0 R 装備:	103 dB(A)
FR 131 T 装備:	107 dB(A)
FR 235 T 装備:	109 dB(A)

音響出力レベル保証値

KM 56 R 装備:	108 dB(A)
KM 85 R 装備:	106 dB(A)
KM 94 R 装備:	106 dB(A)
KM 111 R 装備:	110 dB(A)
KM 131 装備:	112 dB(A)
KM 131 R 装備:	112 dB(A)
KM 235 R 装備:	112 dB(A)
KMA 130 R 装備:	104 dB(A)
KMA 135 R 装備:	104 dB(A)
KMA 80.0 R 装備:	104 dB(A)
KMA 120.0 R 装備:	104 dB(A)
KMA 200.0 R 装備:	105 dB(A)
FR 131 T 装備:	112 dB(A)
FR 235 T 装備:	111 dB(A)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2023年12月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

17 アドレス

www.stihl.com

18 パワーツールの安全上の一般的な警告事項

18.1 はじめに

本章には、手持形モーター駆動式電動工具に関する規格 EN/IEC 62841 に予め記されている一般的な安全上の注意事項が掲載されています。

STIHL には、このテキストを印刷することが義務付けられています。

下記の「電気的安全性」に記載されている、感電防止に関する安全上の注意事項は、STIHL バッテリー製品には適用できません。



警告

この電動工具に付いている安全上の注意事項、指示、図と技術仕様すべてに目を通してください。下記の指示に従わないと、感電、火災や重傷に至るおそれがあります。安全上の注意事項と指示は、今後参照できるようにすべて保管してください。

安全上の注意事項で使用されている「電動工具」という用語は、電源コード式電動工具（電源ケーブル付き）またはバッテリー式電動工具（電源ケーブルなし）のことを指します。

18.2 作業場の安全

- 作業場は清潔に保ち、良好な照明状態を確保してください。作業場が整理整頓されていないか暗いと、事故に至るおそれがあります。
- 可燃性の液体、ガスや粉塵が存在する爆発性雰囲気では、電動工具で作業しないでください。電動工具の使用時に発生する火花が、粉塵や蒸気に引火するおそれがあります。

- 電動工具の使用中は、子供やその他の人物が近づかないようにしてください。注意が逸れると、電動工具を制御できなくなるおそれがあります。

18.3 電気的安全性

- 電動工具の接続プラグはコンセントに合うものでなければなりません。いかなる方法でも、プラグに変更を加えてはなりません。アダプタープラグは、保護接地された電動工具とは併用しないでください。プラグに変更を加えず、プラグに合うコンセントを使用すれば、感電のリスクが低下します。
- パイプ、ヒーター、コンロや冷蔵庫などの接地されている表面に身体が触れないようにしてください。身体が接地されると、感電のリスクが高まります。
- 電動工具を雨や水分から保護してください。水が電動工具に浸入すると、感電のリスクが高まります。
- 接続ケーブルを所定の目的以外の用途に使用することは控えてください。接続ケーブルを持って電動工具を持ち運ぶこと、引っ張ること、電動工具のプラグを引き抜くことは絶対に行わないでください。接続ケーブルは熱、油、鋭いエッジや可動部品に近づけないでください。接続ケーブルが損傷するか絡まると、感電のリスクが高まります。
- 電動工具を屋外で使用する場合は、屋外にも適した延長ケーブル以外は使用しないでください。屋外に適した延長ケーブルを使用すれば、感電のリスクが低下します。
- 電動工具をやむを得ず湿った環境で使用する場合は、漏電ブレーカーを使用してください。漏電ブレーカーを使用すれば、感電のリスクが低下します。

18.4 人員の安全

- 注意を払い、自分の行動に気をつけ、しっかりと判断しながら電動工具での作業に取り掛かってください。疲れているか、薬物、アルコールや医薬品の影響を受けている場合は電動工具を使用しないでください。電動工具の使用時は、一瞬の油断が大きな怪我につながる可能性があります。
- 個人用保護具と保護メガネを常に着用してください。電動工具の種類と使用方法に応じて、防塵マスク、滑りにくい安全靴、安全ヘルメットや聴力保護具などの個人用保護具を着用すれば、怪我をすするリスクが低下します。
- 意図せぬ起動を防止してください。電源やバッテリーに接続する、持ち上げる、または持ち運ぶ前に、電動工具がオフになっているこ

- とを確認してください。電動工具を持ち運ぶ際に指がスイッチのところにあるか、電動工具がオンの状態で電源に接続すると、事故につながるおそれがあります。
- d) 電動工具をオンにする前に、調整用工具やスパナを取り除いてください。電動工具の回転部分に工具やスパナがあると、怪我をするおそれがあります。
- e) 体の姿勢が不自然になることは避けてください。しっかりとした足場を確保し、常にバランスを保ってください。そうすれば、予期せぬ状況が発生した場合に電動工具が制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。大きめの衣服や装飾品は着用しないでください。髪と衣服を可動部に近づけないでください。大きめの衣服や装飾品を着用しているか、髪が長いと、可動部に巻き込まれるおそれがあります。
- g) 掃除機・集塵機を取り付けることができる場合は、それを接続して、正しく使用してください。集塵機を使用することで、粉塵によるリスクを低下させることができます。
- h) 電動工具を何度も使用して慣れている場合でも、安全であると過信せず、電動工具の安全規則を無視しないでください。軽はずみな行動をとると、一瞬のうちに重傷を負うおそれがあります。

18.5 電動工具の使用と取り扱い

- a) 電動工具に過負荷を掛けないでください。作業に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具を使用すれば、指定出力範囲内で作業しやすくなり、安全性も増します。
- b) スイッチが故障している電動工具は使用しないでください。オン・オフにできなくなった電動工具は危険であり、修理しなければなりません。
- c) 機器を設定する、使用ツールを交換する、または電動工具を片付ける前に、プラグをコンセントから引き抜くか、着脱式バッテリーを取り外すか、その両方を行ってください。この予防策を取ることで、電動工具の意図せぬ起動が防止されます。
- d) 使用していない電動工具は、子供の手が届かない場所に保管してください。慣れていないか、この指示を読んでいない人物には、電動工具を使用させないでください。不慣れな人物が電動工具を使用すると、危険な状況に至ります。
- e) 電動工具と使用ツールは入念に手入れしてください。可動部が支障なく機能し、挟まって動かなくなることがないかどうか、電動工具の機能が損なわれるほど破損・損傷している

部品がないかどうかを点検してください。部品が損傷している場合は、電動工具を使用する前に修理を依頼してください。多くの事故は、電動工具のメンテナンスが不良であったことに起因します。

- f) カuttingツールは鋭くて清潔な状態に保ってください。Cuttingツールを入念に手入れし、刃先が鋭い状態に保てば、挟まって動かなくなる回数が減り、操作しやすくなります。
- g) 電動工具や使用ツールなどは、この指示に従って使用してください。その際、作業条件と実施する作業を考慮に入れてください。所定の目的以外の用途に電動工具を使用すると、危険な状況に陥るおそれがあります。
- h) ハンドルとハンドル面は乾いており、清潔で、オイルやグリスが付着していない状態に保ってください。ハンドルとハンドル面が滑りやすくと、予期せぬ状況で電動工具を確実に操作して制御することができなくなります。

18.6 サービス

- a) 電動工具は必ず有資格者に修理を依頼し、純正スペアパーツ以外が使用されないようにしてください。そうすることで、電動工具の安全が確実に維持されます。
- b) 損傷しているバッテリーのメンテナンスは絶対に行わないでください。バッテリーのメンテナンスは、どの場合でも必ずメーカーまたは認定サービス店に依頼してください。

18.7 ブロワーに関する安全上の注意事項

ブロワーの一般的な安全上の注意事項

- a) 悪天候下、特に雷雨のおそれがある場合は、ブロワーを使用しないでください。これにより、落雷に打たれるリスクを減らすことができます。
- b) 保護眼鏡および聴力保護具を着用してください。適切な個人防護具を使用することで、負傷の危険を低減させることができます。
- c) ブロワーの使用中は、滑らない安全靴を必ず履いてください。裸足やサンダルでは絶対に作業しないでください。これにより、足に怪我をするリスクを減らすことができます。
- d) 吸気口に引き込まれそうなどぶだぶの衣服やマフラー、紐、チエーン、ベルト等を着用しないでください。長い髪は引き込まれないように後ろで束ねるか、覆いをしてください。これらが吸気口に引き込まれると、負傷の危険が高まります。

- e ブロワーをご使用になるときには、他の人に近づかないでください。雑草が飛散して、負傷の危険が高まります。
- f) ブロワーノズルを人、動物、窓に絶対に向けないでください。近くに木や自動車、壁がある場所で雑草に風を吹き付けるときには、雑草がぶつからないように特に注意してください。物体が飛散して、負傷の危険が高まります。
- g) タバコやマッチ、灰などの燃えている、または煙が出ている物に本機で風を吹き付けしないでください。これらが発火源となって火災が発生する危険が高くなります。
- h) ベンチレーターが回転している間はこれに触れないでください。本機のスイッチをオフにし、ベンチレーターが静止するのを待ってからその周囲の部品を取り除いて、ベンチレーターに手が伸ばせるようにしてください。これによって、可動部品による怪我のリスクを減らすことができます。
- i) 挟まった木材を除去したり本機のメンテナンスを行ったりする前に、スイッチがオフになっていることを確認してください。挟まった木材を取り除いたりメンテナンスを行ったりする際に、本機が予期せず動作すると、負傷の危険が高くなります。

www.stihl.com



0458-548-4321-D



0458-548-4321-D